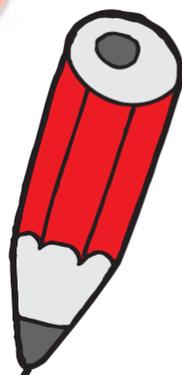


# 第28回子ども・青少年特集 8・9面

## こんなまちになったら すてき 素敵だな

### — みんなで考える小金井市の未来 —



明けましておめでとうございます。皆さん、希望に満ちた新年をお迎えのことと思います。

今回の子ども・青少年特集は、「こんなまちになったら素敵だな—みんなで考える小金井市の未来」をテーマに作文を募集しました。ここでは、応募のあった8件の作文を紹介します。すてきな作文をご応募いただきまして、ありがとうございました。

なお、作文は原則として原文のまま掲載しています。

☎ 広報秘書課 広報係 (☎042-387-9803)

#### 「小金井市について考えたこと」

小学校3年生 森山 優さん

ぼくは、小金井市に住めて良かったのですが「こんなまちになったら素敵だな」と思うことは3つあります。

まず一つ目は、玉川上水についてです。ぼくの友達は魚好きで魚のことなら何でも知っています。だから遊ぶ時、玉川上水の橋の上から、パンをちぎって投げてコイにあげたりしています。コイの他にもモツゴがいるそうです。野川もたまに行きますが、遠いので夏休みとかしか行けず、玉川上水も野川みたいにおりるところがあればいいな。と思っています。

二つ目は、図書館についてです。前はまんが本が置いてなかったのですが、図書館にはあまり行きませんでした。けれど最近三つだけ借りることができるようになり、図書館へ行くようになりました。ついでに本も借りてきて本を読んだら、お母さんにほめられました。まんがはすぐ読んでしまうので、もっとたくさんのまんがが借りれるようになってほしいです。

三つ目は50年後についてです。ぼくは、50年後60歳になりますが、優しくしてほしいのでぼくもお年寄りに優しくします。そして50年後には優しくしてほしいです。

小金井市はおばあちゃんの家と比べると、公園が多くて児童館のイベントがあったりするので楽しいです。これからもあんまりかわらないでほしいです。



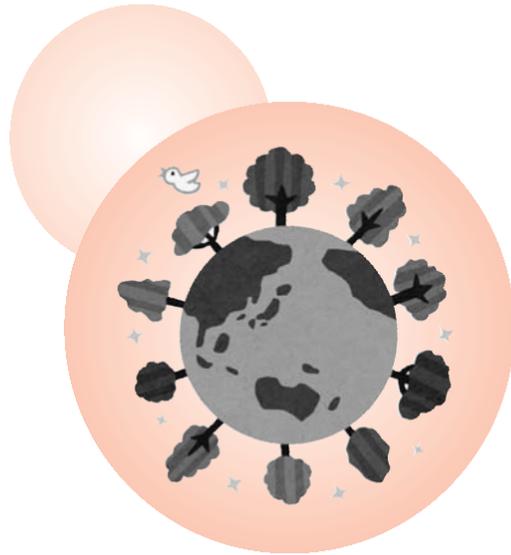
#### 「かごねのぼるぼる」

小学校5年生 工藤 深優さん

わたしは、この小金井市を「かごねのぼるぼる」のよい町にしたいと思いました。なぜなら、かごねを悪くしてしまうと動物や自然が生きられないし、わたしたちに必要な食料もなくなってしまうからです。

今、ごみの問題が多く、いたる所にゴミについては紙がはられています。それだけごみすてのルールを守らない人が多いという事だと思っています。私がこの問題点について思った事は、一人がポイすてをする時、その一つの行動から多くの人に危害を加えることになってしまうということです。私だけがゴミのポイすてをしたって大丈夫だよ。とポイすてをする時に思ってもみません。けれど、よく考えてみると、そのゴミをもし動物が食べてしまったり…そのゴミが川に流れてしまったり…と考えるとやっぱりこんなことをしてはいけないということがきつと分かるはずなんです。また、ゴミが落ちていたら、自分からすんでひろう事も大切です。

このように、かごねをぼるぼるを守るためにまず、一人一人がごみすてのルールを守る事が大切です。また、ルールを守らずにいる人が、守らないと、けつさよくは自分達のくらしが不便利な物になってしまうことを知ってもらい、ごみすてのルールを守らない人が一人もいないようにすることが、かごねのぼるぼるのよい小金井市になるために大切なことだと思っています。



#### 「変わらぬ体験を多くの人も」

中学校3年生 小池 瑠美那さん

春になると街中にあふれる桜や、多様な生物が住まう野川。世界に誇れる自然、これらを最大限にアピールしない手はない。

各地から花見目当てで小金井を訪れる人が集う風景、それは私が思い描く理想の一つである。花見という文化を小金井で体感してほしいと思っただから。大勢の人に小金井の桜を見てもらうためには、市外へ積極的に発信する必要がある。市外の友人に小金井の桜について話をしても、知らない人が複数人いたこのときに私は大きな衝撃を受けた。だから、桜を目的として小金井市に来る人が増えてほしい。

美しい川である野川やその周辺に生息する生物は、都内では珍しい自然の一部である。小金井市民は、それらに触れ合う機会に恵まれている。しかし、都市ではそのような環境が少ない。小金井の魅力の一つである野川で生物の観察をしたり、散歩をしたりすることが、どんな人にも気軽にできる街になってほしいと思う。

環境を守りつつ自然を体験できる小金井市であってほしい。その素晴らしさを知れば、あらゆる世代の人が集まり、豊かな街になるにちがいない。

